事例1のポイント解説

事例1	基準時間	47.0分	平成22年度制作の介護認定審査会向けDVD教材の収録事例。DVDでは一次判定の修正を行い、最終的な一次判定が要介護2となるケース。一次判定の修正・確定において間違いやすい「移動」「排尿」の違いを説明するための事例。
	一次判定	要介護1	

基本調査の選択ミス

- 「3-7：場所の理解」の選択に誤りがある。
- 調査員が迷った場合や、判断が困難な場合に事務局の果たす役割（情報提供）の重要性。

適切な介助の方法の判断

- 排泄時における「適切な介助の方法」を、「一次判定修正・確定」において評価する際の留意点を指摘。
- トイレまでの移動は「移動」、トイレへの声掛け誘導は「排尿（排便）」で評価する。
- 「見守り等」を選択するか、「一部介助」を選択するかは、審査会委員の「専門性と経験」に基づいて判断。

一次判定の修正・確定後

- 一次判定は、基準時間52.0分で「要介護2」となる。

1

事例1のポイント解説

3－7　場所の理解（能力）

（定義）

「ここはどこですか」という質問に答えることができること

（選択基準）

・できる

適切に回答できる場合

・できない

適切に回答できない、あるいはまったく回答できない場合

（審査場の留意点）

所在地や施設名をたずねる質問ではない。質問に対して「施設」「自宅」などの区別がつけば、「できる」を選択する

2

事例1のポイント解説

2－2　移動（介助の方法）

（定義）

「日常生活」において、食事や排泄、入浴等で、必要な場所への移動にあたって、見守りや介助はおこなわれているかどうか

（選択基準）

・介助されていない

・見守り等

常時の付き添いの必要がある「見守り」や、認知症高齢者等の場合に必要な行為の「確認、「指示」」「声かけ」

・一部介助

介護者が手を添える、体幹を支える、段差で車椅子等を押す等の「移動」の行為の一部に介助が行われているばあい

・全介助

3

事例1のポイント解説

2－5　排尿（介助の方法）

（定義）

「排尿動作(ズボン・パンツの上げ下げ、トイレ、尿器への排尿)」、「陰部の清拭」「トイレの水洗」「トイレやポータブルトイレ、尿器等の排尿後の清掃」「オムツ、リハビリパンツ、尿とりパッドの交換」「抜去したカテーテルの後始末」の一連の行為

（選択基準）

・介助されていない

・見守り等

常時の付き添いの必要がある「見守り」や、認知症高齢者等をトイレ等へ誘導するために必要な「確認」、「指示」」「声かけ」等

・一部介助

一連の行為に部分的に介助が行われている場合

・全介助

4

事例１のポイント解説

２－５　排尿（介助の方法）

（留意点）

〇トイレまでの移動に関する介助は、ほかの移動行為とともに「２－２移動」で評価するが、トイレ等へ誘導するための「確認」「指示」「声かけ」は、排尿の「２見守り等」として評価する

〇トイレへの移乗に関する介助は、他の移乗行為とともに「２－１移乗」で評価する

〇失禁した場合の衣服の更衣に関する介助は、他の着脱行為とともに「２－１０上衣の着脱」「2-11ズボン等の着脱」で評価する

〇「介助されていない」状態や「実際に行われている介助」が対象者にとって不適切な場合

（理由を特記事項に、適切な方法を選択し、審査会の判断を仰ぐ）

・**独居や日中独居等による介護者不在のため**

・介護放棄、介護抵抗

・介護者の心身の状態から介助が提供できない

・介助が本人の自立を阻害している

5

事例１のポイント解説

- 排泄に関する基本調査の定義
  ＜失禁の原因把握が重要＞

対象者への介助内容	対応する調査項目
トイレへの **【物理的な移動に関する】誘導** （移動に問題、場所が分からない）	**移動の「見守り」** 介助を伴う場合は「一部介助」「全介助」＊
トイレへの**【タイミング等に関する声掛けなど】誘導**	**排尿・排便の「見守り等」**
排泄時のズボンの上げ下げ	排尿・排便
失禁時の着替え	ズボン等の着脱

＊ただし、その他の「移動」機会における介助の方法の頻度によって判断する

6

事例１のポイント解説

不一致のある調査項目	選択肢	特記事項等の記載	不一致の根拠となる認定調査員テキストの定義･留意事項等の記載
5－7 場所の理解	(現状) できない ↓ (修正) できる	自宅にいることは理解しているが、町名は昔住んできた場所を答える。	質問に対して「施設」「自宅」などの区別がつけば、「できる」を選択する
2－2 移動	(現状) 介助されていない ↓ (修正) 見守り等	歩行は相当にゆっくり時間をかけて行っている 訪問時、はいていたズボンも濡れており、部屋からも尿意がしたことから、トイレに間に合わないケースがあると考えられる	トイレまでの移動に関する介助は、ほかの移動行為とともに「2－2移動」で評価する

7

事例１のポイント解説

第２群　生活機能		
1.　移乗		－
2.　移動	見守り等	－
3.　えん下		－
4.　食事摂取		－
5.　排尿	見守り等	－
6.　排便		－
7.　口腔清潔		－
8.　洗顔		－
9.　整髪		－
10.　上衣の着脱	一部介助	－
11.　ズボン等の着脱	一部介助	－
12.　外出頻度	月１回以上	－
第３群　認知機能		
1.　意思の伝達		－
2.　毎日の日課を理解		－
3.　生年月日をいう		－
4.　短期記憶		－
5.　自分の名前をいう		－
6.　今の季節を理解		－
7.　場所の理解		－
8.　徘徊		－
9.　外出して戻れない		－

8